

●○○ 第241回あすか倶楽部 定例会 ●○○

テーマ：駅は地域の玄関口

講師：いすみ鉄道応援団団長 掛須 保之 氏

日時：2024年1月20日（土）14:00～17:00

場所：日土地内幸町ビル3階 （一社）大日本水産会 大会議室

千葉県房総半島を走る第三セクター方式のローカル線いすみ鉄道は、春には菜の花と桜、6月には紫陽花など四季折々の風景が楽しめる鉄道です。

赤字経営が長く続き、地域の活性化や観光客増員が課題となっていますが、「いすみ鉄道」をこよなく愛し、いすみ鉄道及びいすみ鉄道周辺に来られるお客様に対するボランティア活動団体が「いすみ鉄道応援団」です。

今回は、いすみ鉄道応援団長である「掛須保之」さんから、応援団の活動内容や「いすみ鉄道」を取り巻く諸事情について、生の声をお聞きすることができました。

とにかくパワフルな掛須さんです。旅館業という仕事を持ちながら、土日は、ほぼ応援団活動（名物たこめし弁当売りやイベント対応含む）に注力されています。

そもそも「いすみ鉄道応援団」設立のきっかけは、赤字続きの「いすみ鉄道立て直し」で就任した鳥塚社長が、「いすみ鉄道をムーン鉄道の愛称で、観光客を取り込む」宣言をしたことが始まりで、「観光客から稼ぐためにはどう行動すればいいのか」知恵を出し合い実践できる集団として発足、団長として「掛須さん」が指名されました。

その活動が多くメディアにも取り上げられ、「いすみ」のPRにつながっています。

そして、「いすみのPR」のみに留まらず、その他の活動としては、

①いすみ鉄道国吉駅ハートフルステーション内での

- ・無料レンタサイクルの整備・貸出
- ・ポップコーン、鉄道グッズ、飲料、お弁当販売

②駅構内での立ち売り（ポップコーン、お弁当、飲料）

※立ち売りが名物になりつつあります。

があり、利益を出し、応援団の運営費をまかなっています。

また、地域の方々とのコミュニケーションも大切にしており、地域の学生さんたちとの討論を含んだ講演会の実施や地域の方々と協力してイベント企画・実施も行っています。

そして、「稼いでいく」ことを目指し、営利を目的とした「いすみ鉄道サポーターズ企業組合」も設立し、いすみ鉄道列車などを利用した各種イベントの実施に注力する活動を展開されています。

【所感】

私たちあすか倶楽部メンバーも、一度は、いすみ鉄道を訪問し、ファンになっていきたいと思うことができた講演でした。